



令和3年度 第11号 令和4年3月11日

# 鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに**夢**と**希望**を育む鶴川内中

協 自 自  
調 律 主

一 校 一 風

育てよう**花**と**心**と大きな**夢**を

## 校長室の窓から 校章は「巣立ちゆく姿」を表現、前途に幸多かれ

校長 中山 武広

本校の校章は、紙面左上、本紙タイトル左側にあるとおりです。本校に赴任して初めてこの校章を見たとき、率直に「かわいい」と思いました。今見ても、とてもかわいらしく目に映り、見るたびにほほえましい気持ちになります。校章の由来として、古いほうの記録では次のように書かれています。

- 校章の意味するもの ※現在は少し表現を整理してあります。
- 1 鶴のくちばしを両方から向かい合わせて、協力をあらわし、
- 2 3本の縦の棒は「川」を表現し、特に中心の棒はがっちりとして安定させ、鶴中の魂を支えている。
- 3 鶴の“ヒナ”が巣立ちゆく姿を表現している。

記録に「昭和22年6月制定」とあることから、開校の翌月にはすでに存在していたことになり、創立以来75年間にわたって本校のシンボルであり続けてきたわけです。シンプルなデザインですが、「協力」「鶴中の魂」「巣立ちゆく姿」等の重みある内容をほほえましく図案化した、秀逸の校章です。今年度を含めて3,396名となる本校卒業生の方々は、何年経ってもほほえましくこの校章を思い出せるのではと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて、令和になって三度目の卒業式もコロナ禍の中での実施となり、来たる3月15日、規模を縮小して、生徒・保護者・職員のみで挙行することといたしました。

第75回卒業生は12名。入学以来3年間の学びを積み重ね、学年が上がるにつれて確かな成長を遂げてきた3年生。特に、この1年間は最上級生としてリーダーシップを発揮し、力強く堅実に学校を牽引してくれました。最も印象深い場面は体育大会。コロナの影響で練習期間は過去最短、当日は土砂降りの大雨という状況をもものともせず、体育大会を大成功に導いてくれたのは見事でした。何があっても動じない安定感は頼もしいばかりで、コロナ禍で制限が多い中、文化祭等の行事も日々の学校生活も、実り多いものにしてくれました。

今、卒業のときを迎え、それぞれが決意も新たに大空に向かって巣立ちゆきますが、今後とも、行く先々でいい出会いに恵まれ、さらなる成長を遂げ、ますます活躍されますように心からお祈りいたします。

12名の前途に幸多かれ。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

最後に、私事で誠に恐縮でございますが、このたび、定年により本校勤務をもって退職となります。

校長室前廊下の校章の立体模型を目にして「かわいい」と思ってから早3年が過ぎ去り、その間、地域・保護者の皆様には本校教育活動に多大なご支援ご協力を賜り、公私ともに大変にお世話になりました。皆様方のご厚情に深く感謝の意を表しますとともに、鶴川内中学校及び鶴中校区の今後なお一層のご発展を心からお祈り申し上げます。

## 主な行事予定

月	日	曜	3月～4月の主な行事
3	14	月	同窓会入会式 卒業式予行
	15	火	第75回卒業式(規模縮小)
	16	水	公立高校合格発表
	22	火	生徒集会
	25	木	修了式 辞任式
	29	火	入学生保護者説明会
4	6	水	始業式 入学式 親任式 春の交通安全運動(~15日)
	7	木	新入生オリエンテーション
	8	金	PTA 役員会・評議員会
	9	土	知能検査
	11	月	家庭訪問
	12	火	12・13(多田・校区外)
	14	木	14・15(鶴川内・校区外)
	18	月	交通安全教室
19	火	全国学力・学習状況調査	
			PTA 総会・歓迎会 防災訓練(引渡し訓練)
	26	火	2・3年実力テスト(~27日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるため、3/15(火)の第75回卒業式は、卒業生、在校生、卒業生保護者のみの参加で行います。したがって、ご来賓の卒業式の御臨席を御遠慮申し上げます。御理解とご協力をお願いいたします。

努力目標

一年間のまとめと反省をしよう。

一事徹底

スコラ手帳に基本3点時間を記入し、生活のリズムを整えよう。

## 卒業を目前に

3月15日(火)、第75回卒業式を行います。12人の卒業生となります。



いつもできる。  
自然と体が、頭が動く。  
それが習慣。それが生活。  
「喜積が奇跡を生み、人生の美しい軌跡となる」  
誠に残念ではありますが、本年度も規模を縮小とした卒業式となります。  
3年生全員が支えてくださったすべての方々に感謝を述べています。

## 立志式

2月12日(土)に、規模を縮小し、2年生保護者のみの参加者で、立志式を行いました。



一人一人が志について、それぞれの四字熟語を基に、スピーチを行いました。とても、よく考えられており、14歳を祝い、大人になる決意の日となりました。

## 生徒会レクレーション

2月2日(水)昼休みに、オンラインでの全校生徒参加のレクレーションをしました。



まん延防止期間のため、当初予定した“けいどろ”の企画を変更し、クイズを主体としたレクレーションを生徒会役員が考えて、実施しました。ZOOMの使い方等も交えて、楽しい時間となりました。企画力で乗り越えています。

## 卒業を前に

節目節目でやってくるものであり、中学3年というこの瞬間は、君にとって一度しか訪れない。誰であっても最後で最初の卒業式に違いない。

何も必要ない。全員が一丸となり声を合わせる。礼一つ、起立一つ、着席一つ、一挙手一動を仲間とそろえ、思いを胸にあるべき姿で立つ。それで伝わるものがある。その動きで3年間の重みを背中で語れる人であってほしい。

担任の先生がきみの名を呼ぶ。名には親御さんの思いが込められている。「はい。」と明るく重く元気な潔い凛とした声で返したい。その短い短い呼応の中に血が通い、思いが伝わるものにしよう。きみの「はい」という返事を耳に焼き付ける。名を呼ぶことを君へのはなむけの言葉とし、「はい」の中に君と訣別の時を迎えることにする。なんと素晴らしい別れ方ではないかと3月を迎えるたびに感じる。短い別れ方だが、とてつもなく深く長い思いが込められている。

そして、きみは卒業証書を受け取る。15の春を迎えられない人も世界には多い。生きていることに感謝し、生きていくことを決意する瞬間になるといい。当たり前なことを当たり前にして終えよう。別れ方が肝心だ。

身に付けた力は目に見える学力だけでない。高尚なる勇ましい人生に必要な目に見えない生きる力が重要である。人の痛みの分かる人であり続けよう。

阿久根建設(株)様より、男女ソフトテニスボール部にソフトボールを寄贈いただき、阿久根中学校にも寄贈いただきました。よい値段のするボールは貴重なプレゼントであり、深くお礼申し上げます。生徒たちの笑顔になりました。大切に使用させていただきます。



## PTA立志記念遠行

2月12日(土)、臥龍梅でも有名な藤川天神で祈願し、とうとう五色親水公園までの往復を遠行しました。



あいにくの天気となりましたが、保護者とともに、臥龍梅が咲き乱れる神社にて、立志の祈願をし、記念遠行を行いました。約10kmの道のりを全員が歩きました。夢を胸に刻んでいつまでも、それぞれの芽を伸ばし、色とりどりの花を咲かせましょう。